

■チャームさんのビジネスマンとしての適性のすべて

チャーム様 2004年10月26日 10時0分 千葉県

競争の厳しい社会での成功と失敗ということをお占うには、四柱推命が圧倒的に向いています。ビジネスマンとしての適性と欠点は？に関しては、日干をみて占います。チャームさんの才能を活かせる職場はどんなところ？ チャームさんに向いている仕事と向いていない仕事は？ もし管理職になったらどのように振舞うと良いか？どのような人間関係を構築すると大きな失敗をしないか？はいづれも、月上の通変星をみて占います。

■チャームさんのビジネスマンとしての適性と欠点は？

チャームさんは、日主が戌ですから、結果を出すためなら、目的に徹して要領良く立ちまわることが得意です。組織間の調整役や社交性をいかした仕事ならピッタリと合うことでしょう。また、色々な問題や課題を乗り越えないと達成感を得られないタイプですから、少々困難な仕事を積極的に担当していくくらいで丁度良いでしょう。たとえば、失敗する可能性が高く、同僚達から反対され、心配されるくらいのプロジェクトをやってみることで、始めて躍動感を味わうことでしょう。若いうちは、なるべく厳しい上司や、プロ集団の顧客と接して、人にもまれることが必要です。チャームさんは、自分の主張はあったとしてもなかなか表には出しませんし、チャンスが来るまでじっと我慢強く待っている性格です。ですから、チャームさんが、本音をいうとしたら、かなり信頼している相手か、こころ一番という重要なポイントとなる時です。一方で、チャームさんは、要領よく、効率的にやることばかり考えていますので、いつも頭脳が回転していて考えています。その結果、頭脳的、効率主義的になり過ぎて、こだわらなくても良いことに、こだわってしまい、重要な本質を見逃してしまう欠点があります。たとえば、自分の上司にも、部下にも、そして顧客にも、さらに自分自身にもメリットのある仕事をしようと思うあまり、振り返ってみると、一本筋がとおっていない仕事のやり方を続けてしまい、上司からも部下からも、そして顧客からも非難されたりすることもありそうです。チャームさんは、もともと、長時間の思考は得意な方ですが、思考することよりも、まずは、行動してみて周囲の反応を見ながら、進むべき道を開拓していくといった姿勢の方がうまくいきます。

■チャームさんの才能を活かせる職場はどんなところ？

チャームさんのビジネス能力は偏官星という星が支配します。チャームさんは、組織化された会社の中ではじめて能力を発揮できるタイプです。つまり、上司にうまくあわせたり、同僚や部下を会社の方針にのっとって管理し、まとめあげていく能力です。さらに、非常に人心掌握にたけて、『正義感』を前面に押し出しながらまとめあげていきますので、経営者の信頼も得ることができる能力です。いいかえれば、大義名分をだされて、頼まれたら嫌とは言えないところがあります。しかし、自分の力では到底手におえないと悟ったら、ふさわしい人物を会社の中で見つけ出してきて、うまくバトンタッチすることができます。ですから、良い会社、良いトップと現場の風通しの良い組織ではストレスもなく、才能を発揮できるのですが、風通しの悪い会社や好き嫌いで人事が決まるような組織ではストレスがたまります。組織に対する不満があれば、社員を代表してトップに談判するような過激性も持ち合わせています。

■チャームさんに向いている仕事と向いていない仕事

チャームさんは、会社の経営者や幹部から見ると、組織人向きと評価され、管理職として使いやすいと思わせる才能があります。つまり指示に対して正確に

従い、職務を遂行する折り目正しく行動することができるからです。さらに、大きな組織で日常の仕事の手順が確立されていて、それを改善したり改革していくような環境では、チャームさんは生まれ持った才能を十分に発揮して仕事ができることでしょう。しかし、起業まもない会社で社内のルールなどが未整備な組織の場合は、癖の強い人が多いわけですから、その中でやっていくのは大変な苦勞がともなうことでしょう。会社に対する服務能力というのは、部下から見ると、従っていきたいと思わせる才能でもあります。ですから、部下を育て管理する仕事がむいています。中間管理職、監督業、公務員や上級サラリーマンに多いタイプです。1人で独立して商売をやっていくのは向いていません。なぜならば、常に組織という土台があって初めて能力が発揮できるからです。

■もし管理職になったらどのように振舞うと良いか？

チャームさんが管理職になった場合、経営者や役員の指示に従って、職務を正確に遂行します。そういった意味ではチャームさんの部下達も会社の大きなメインストリームに乗って仕事ができる喜びを得ることでしょう。また、人の向き、不向きを観察してチームを編成する管理能力は優れていて、そういったチームの中で若手の人を育てることも上手です。つまり、チャームさんは、部下に大きな仕事を任せることができる器があります。仕事の成果は部下の手柄にし、失敗は自分でとるという折り目正しい管理職になれる才能があります。手柄は自分で横取りし責任は部下に押しつけるような卑怯な真似は好みません。ただし、社会的な正義感に根ざした人間を見る目という面では厳しいものがあり、たとえ、目上や経営者であったとしても、不正やズルなどは決して許せないタイプです。

■どのような人間関係を構築すると大きな失敗をしないか？

チャームさんは、組織に従いながら、組織を改革してゆき、結果的に組織を上手にまとめていくことが得意ですので、普通はある程度出世はするはずですが、ただし、それには自分より職位が上の上司の庇護の下でという条件がありますので、上司との人間関係が悪いと本来自分がもっている、組織を改革していくという能力が生かされないことがあります。また、人よりも、出世したい、または部下が欲しいという欲望が強いので、それが全面に出ると、疎ましく思われることもあります。人を能力のありなしで判断しないで、温かい思いやりのある人間的な付き合いをしていくと、発展していく可能性があります。